

# カナダにおける 化学物質管理への取組： 保健と環境に焦点を置いて

化学物質をめぐる国際潮流に関するシンポジウム

日本・横浜

2007年3月

カナダ保健省  
安全環境計画  
ホリゾンタル・インターナショナル・プログラム課長  
Patricia A Hoes

## カナダ全体図



## プレゼンテーション概要

- カナダによる健康・環境に関する化学物質管理への取り組み
- **カナダ環境保護法**
  - 既存化学物質とカテゴライゼーション
- 化学物質管理計画(CMP)
- 国際的な機会

## カナダによる化学物質管理への取り組み 健康と環境に焦点を置く理由

- 人の健康と物理的環境(大気、水、土壌、食物、及び建物)の重要な関連性に対して認識が高まっています。
- 健康・環境観点からの取組により、カナダ国民の健康と幸福を向上する手段として最高レベルの環境基準を達成し、自然環境を保護しながら、長期的な競争力を向上することを目指しています。
- 主要パートナーとの協力により、環境リスクによる負の影響を削減し、保健分野でよりよい成果をあげることを目指しています。環境及び経済に加えて健康が持続可能な発展の中核となっています。

## カナダにおける健康増進・環境保護体制

- カナダでは、政府命令のすべてが、化学物質によるリスクから国民を保護する役割を果たしています。
- 連邦政府レベルでは、食物、薬品、農薬、及び製品などに含まれる化学物質を管理する多くの法律により、健康と環境を保護しており、環境及び環境による健康への影響の問題に対応している連邦政府レベルの法律は25以上にのぼります。

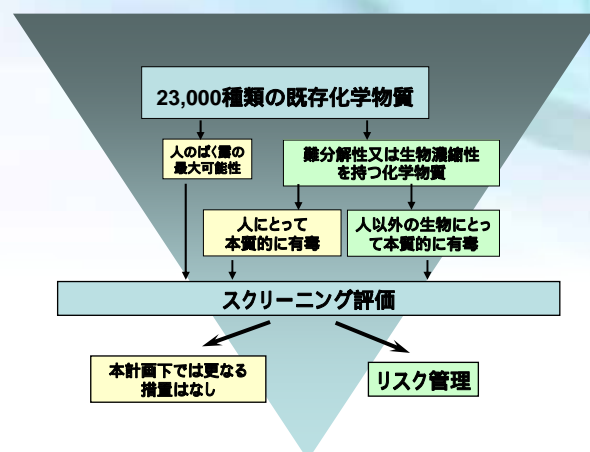
## カナダ環境保護法

- **カナダ環境保護法(CEPA)**(1999年)は、カナダにおける化学物質の評価と管理について規制する最も重要な法律の一つです。
- CEPAの指針：
  - 汚染防止
  - 予防原則
  - 政府間協力
  - 国家基準
  - 汚染者負担原則
  - 科学に基づいた意志決定

## カナダ環境保護法

- CEPAは、保健相及び環境相により合同で運営されています。
- CEPAでは、1994年以降、カナダで製造されたか又は他国からカナダへ輸入された新規化学物質のすべてについての評価を行うことを義務付けています。
- またCEPAでは、1994年以前に導入された従来の化学物質についても、再調査及び評価を義務付けました。これらの既存化学物質は、人の健康や環境に対するリスクがまだ決定されていませんでした。
- **カテゴリゼーション**は、カナダで使用されていた約23,000種類の化学物質の各種特性(分解性、蓄積性、毒性、及び人へのばく露の可能性)に関する情報を、系統的に調査して行われました。

## 分類プロセス



## カテゴリー化の結果

- カナダ政府の科学者、産業界、及び健康・環境関連グループとの協力により、2006年9月にカテゴリー化を完了しました。
- 4300種類の既存化学物質に対し、更に詳しい調査・措置が必要とされました。
  - 4000種類が、カテゴリー化基準に合致
  - 300種類は、人の健康の観点から一層の検討が必要
- 分類プロセスの完了により、化学物質管理への新たな取り組みを行う機会が整いました。

## 化学物質管理計画

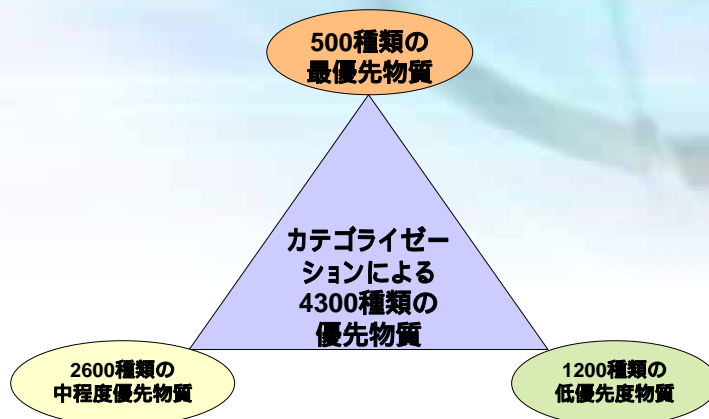
- 2006年12月、カナダ政府は、新たな**化学物質管理計画**の制定を発表しました。
- 本計画は、カテゴリー化の結果に対応し、人や環境に有害な化学物質を規制するために迅速な措置を取るものです。
- 本計画の目標は、今後3年以内に最優先リスク事項への対応を確実にするために規制的プロセスを加速化すること、そして2020年までに、すべての未評価物質についての対応を終了することです。

## 化学物質管理計画

カナダ化学物質管理計画には以下が含まれます。

- 規制及び執行
- 産業界への働きかけ
- 再導入や新たな用途についての規制 (SNACs)
- 低リスク化学物質に対する迅速なスクリーニング
- モニタリング・監視及び研究
- 政府の化学物質関連活動の統合
  - 化粧品成分表示義務
  - 医薬品及びパーソナルケア製品による環境リスクを解決するための規制
  - 食品における環境汚染物質の管理強化
- 化学物質の効果的な管理(stewardship)

## 23,000種類から4300種類の化学物質へ



## 化学物質管理計画 - 構成

- **規制及び執行**
  - 有害と確認された物質の禁止
  - 実質上の廃絶リストの作成
- **産業界への働きかけ**
  - 既存のツール及び規制手段を利用して、人又は環境に対して有害性を持つ可能性のある200種類の化学物質を、産業界がどのように管理しているかについての最新情報を産業界が提供するように働きかけます。
- **再導入及び新規用途の規制**
  - 重要新規活動規制 (SNAC) により、化学物質の新規及び追加的な用途に対する制限・規制を設定します。

## 化学物質管理計画 - 構成(続き)

- **低有害性・低リスク化学物質に対する迅速なスクリーニング**
  - スクリーニングによる取り組みを加速することにより、最悪の場合のシナリオを適用し、カテゴライゼーションに該当しながらもリスクにつながる可能性の低い1200種類の化学物質について、更に詳しい評価が必要かどうかを決定します。
- **カナダ政府の化学物質関連活動の統合**
  - 連邦政府による現行の化学物質規制の更なる統合：  
農薬、化粧品、食品、医薬品及びパーソナルケア製品により生じる環境リスク

## 化学物質管理計画 - 構成(続き)

- **健康モニタリング、監視、及び研究**
  - 健康及び環境モニタリング・監視国家計画の実行
  - リスク評価及び規制的介入に的確な根拠を与えるための規制科学(レギュラトリーサイエンス)の強化
- **化学物質の効果的な管理**
  - 産業界のリーダーシップを取り込んだ行動を起こすための合意の交渉及びその実行
  - 効果的なリスクコミュニケーション及び情報の普及

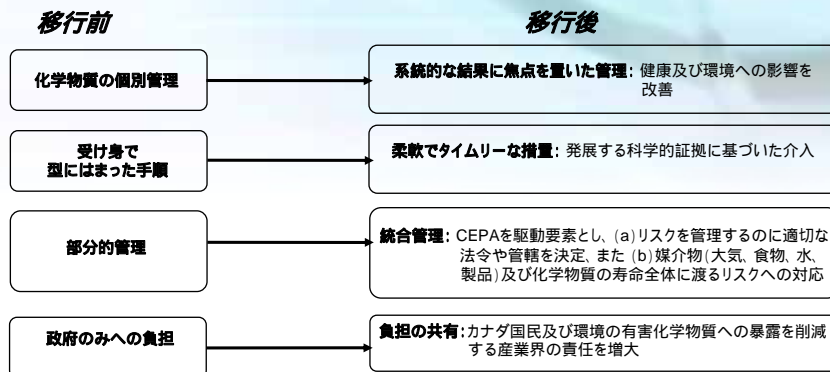
## 国際的な機会

- 化学物質管理国家活動における協力:
  - 関心の共通する化学物質に対する対応において協力を行う可能性 - カテゴリー化において特定した4300種類の化学物質のうち約600種類が、他の国際プログラムにおいても同様に特定されています。
  - 新たな問題及び傾向を特定するための研究協力
  - 国際的に最良な手法の特定
- 国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)
  - 健全な化学物質の管理(SMOC)プロジェクト



## 新しい取組の利点

- 新しい情報により、化学物質の管理方法の進化が促進されます。
- 自国の計画及び国際的計画により、化学物質の安全性に関する新しい情報が次々と生み出されており、これにより次のような移行が考えられます。



## ありがとうございました

背景情報の詳細については  
カナダ化学物質ポータルをご覧ください。

<http://www.chemicalsubstances.gc.ca>